

2020年 第65回 神子元島レース 関東トラディショナルシリーズ (KTS) 第3戦

帆走指示書 (Sailing Instructions)

2020年 9月 7日

開催日 : 2020年 9月12日 (土) ~ 9月13日 (日)

開催地 : 相模湾および神子元島周辺海域

主催 : JSAF 外洋団体加盟 外洋三崎

運営 : 第65回神子元島レース実行委員会

本帆走指示書（Sailing Instructions）の略語表記の意味

[DP]： その規則の違反に対するペナルティーをプロテスト委員会が裁量により失格より軽減することができることを意味する。RRS 第 2 章以外の軽微な規則違反またはプロテスト委員会を納得させる事由がある規則違反も該当する。

[NP]： その規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは RRS60.1(a)を変更している

1. 適用規則

1-1 セーリング競技規則 2017-2020（RRS）に定義された規則。ただし、日没後から翌日日出までの夜間、または視界制限状態時に RRS 第 2 章の規定に代えて、海上衝突予防法および国内法規を適用する。

1-2 IRC 規則 2020 Part A, B および C および日本セーリング連盟 IRC 規定が適用される。但し、以下を除く。

(1) IRC 規則 2020 22.4.2 は適用しない。したがってクルー重量制限は適用されない。但し、最大乗員数は、船舶検査証書に記載された最大搭載人員以内とする

1-3 ORC Rating System 2020 および IMS2020。但し、以下を除く。

(1) ORC Rule 201.2 を変更し、搭載する飲料物、燃料の量を制限しない。

(2) ORC Rule 206.1 を変更し、予備メインセイル 1 枚の搭載を認める。但し、予備メインセイルをレース用の代替として使用してはならない。例外的に、セイルが重大な損傷を受けたり損失したりした場合、そのセイルは予備セイルと交換することができる。

1-4 JSAF 外洋レース規則 2009。

1-5 JSAF 外洋特別規定 2020-2021 モノハル・カテゴリー3。

但し、3.29.13 AIS トランスポンダーの搭載は推奨とする。(3.29.13 変更)

1-6 第 65 回神子元島レース感染症対策規定 2020.07

2. 競技者への通告

2-1 通告は9月12日(土) 07:30 から08:00 までの間に、公式掲示板(WEB)にて行う。

2-2 通告を海上でおこなう場合は本部船にL旗を掲揚し、口頭により各参加艇に通告する。

2-3 9月11日(金)までに行う通告は、外洋三崎ホームページに掲載する。尚、同時に各艇の連絡責任者宛に外洋三崎事務局よりメール通知を行う。

3. 帆走指示書の変更

変更は2項「競技者への通告」に準じて行う。

4. 陸上で発する信号

レース運営に関する信号は陸上では発しない。

5. レースの日程

2020年9月12日(土) 09時45分 : チェックイン締め切り

2020年9月12日(土) 09時55分 : 予告信号

2020年9月13日(日) 15時00分 : タイムリミット

表彰式は、24-3項を参照のこと。

6. クラス

6-1 以下の2ディビジョンを設ける。

IRC ディビジョン

ORC-C ディビジョン

6-2 ITC ディビジョン、ORC-C ディビジョンのダブルエントリーを認める。

6-3 各ディビジョンとも参加艇数により、さらにクラス分けを行う場合がある。

7. レース旗 [DP] [NP]

IRC ディビジョン、ORC-C ディビジョンともレース旗は、JSAF レース旗を用いる。参加艇はチェックインから自艇のレースが終了するまで、JSAF レース旗を掲揚すること。その際、レース旗の下辺がデッキより1.5m以上の高さになるようにすること。

8. レースコースと公式距離

8-1 レースコース

小網代湾口 (スタート) ⇒ 網代崎灯浮標 (左に見て) ⇒ 神子元島 (反時計廻り) ⇒
網代崎灯浮標 (右に見て) ⇒ 小網代湾口(フィニッシュ)

8-2 公式距離 : 99 マイル

8-3 コースを短縮することはない。(RRS32 の変更)

8-4 コースのレグを変更することはない。(RRS33 の変更)

9. チェックイン [DP] [NP]

参加艇は、09:45 までに、L 旗を掲揚した本部船を右側に見て後方から機走もしくは機帆走で通過し、セイル番号、乗員数およびライフジャケット着用とハーネス装備の確認を受けなければならない。

10. スタート

10-1 レースは、RRS26 に従ってスタートする。

10-2 全艇一斉スタートとする。

10-3 レース開始を艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に、音響1声とともにオレンジ旗を掲揚する。

10-4 予告信号に用いるクラス旗は、JSAF クラブバージとする。

10-5 スタートライン

スターボード・エンドとなる本部船のオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポート・エンドとなる黄色円柱型ブイのコース側との間とする。

10-6 タート信号後20分以内にスタートしなかった艇は、DNSとする。(RRS A4, A5 の変更)

11. リコール

11-1 個別リコール [DP]

リコール艇があった場合、RRS29.1により音響1声とともにX旗を掲揚する。

X旗はリコール艇の全てが、リコールを解消するか、スタート信号後4分経過するか、どちらか早い方で降下する。リコール艇は、スタートラインまたはその延長線のプレスタート・サイドに完全に帆走するまで、またはRRS30.1が適用されている場合には、スタートする前にスタートラインの延長線上を横切りプレスタート・サイドまで帆走しなければならない。

- 11-2 個別リコール艇に対するサービス 個別のリコール艇名をレース委員会が VHF 72ch にて同報する場合があります。(RRS 29.1 への追加) ただし、これはあくまでサービスであり、不手際があったとしても救済の対象とはならない。
- 11-3 ゼネラル・リコール ゼネラル・リコール信号は RRS29.2 により音響 2 声とともに第 1 代表旗を掲揚する。新しいスタートの予告信号は、第 1 代表旗降下 (音響信号 1 声) の 1 分後に発せられる。

12. フィニッシュライン

本部船 (外洋三崎大クラブ旗を掲揚) のオレンジ旗を掲揚したポールと黄色円柱型ブイのコース側との間とする。尚、黄色円柱型ブイは、夜間自動点灯型のストロボライトを装着する。但し、消灯していたとしても救済の対象とはならない。

13. タイムリミット

- 13-1 タイムリミット時刻 : 9 月 13 日 (日) 15 : 00 とする。
- 13-2 タイムリミットまでにフィニッシュできなかった艇は、DNF と記録される。(RRS 35、A4、A5 の変更)

14. レースの成立

各ディビジョン、1 艇以上のタイムリミット内フィニッシュを持ってレースの成立とする。

15. レースの中止

- 15-1 エントリー締切日までに参加艇数が 3 艇未満の場合は、レースを中止する。
- 15-2 悪天候や感染症拡大防止策などやむを得ない事情により事前にレースを中止する場合は、レースの中止はレース前日の 9 月 11 日 (金) 18 : 00 までにレース委員会が決定し、レース委員会より各艇の連絡責任者宛に電話連絡を行う。加えて 2 項に準じて通告する。
- 15-3 スタート海面で中止を決定する状況が生じた場合は、本部船に N 旗と A 旗を掲揚し音響 3 声を発する。

16. 日没、日の出の公式時刻

日没時刻 : 9 月 12 日 (土) 17 : 50
日の出時刻 : 9 月 13 日 (日) 05 : 30

17. 出艇申告の変更 (乗員の変更)

- 17-1 乗員の変更は、原則として、9 月 12 日 (土) 08 : 00 までに書面をレース本部に、メールで提出すること。(レース本部へ持参提出を認める。)
- 17-2 前項が困難な場合には、9 月 12 日 (土) 07:30-08 : 00 の間、レース本部の電話でも受け付ける。ただし、この場合はチェックイン時に出艇申告書の変更 (乗員の変更) を書面にて本部船に提出すること。

18. スタートしない場合、リタイアする場合の義務

- 18-1 スタートしない艇およびリタイアする艇は、レース本部まで直ちに連絡しなければならない。
- 18-2 連絡は必ず艇の責任者もしくは相応の者が行い、艇以外の第三者に伝言を託してはならない。
- 18-3 リタイアした艇は、ホームポートに帰着するまで、携帯電話および V H F を常時通話可能な状態を維持すること。(レース本部より安全の観点から連絡する場合がある)
- 18-4 リタイアした艇は、ホームポートに帰着後、速やかにレース本部に帰着連絡すること。

19. ロールコールの手続き [DP]

付則-1 「神子元島レース 通信規定」に従い運用すること。

20. 日没後から翌日日出までのフィニッシュの手続き [DP]

- 20-1 フィニッシュの5分前までに本部船に対し、A符号（・ー）の発光信号を連送すること。
- 20-2 前項に加え、フィニッシュ直前に自艇のメインセイルをライトで照射し、本部船の視認を受けること。
- 20-3 さらに、フィニッシュ後、艇名を発声にて本部船に申告し、確認を受けること。

21. 帰着申告書類の提出義務 [DP]

帰着申告として所定のレース報告書および航跡図に必要な事項を記入し、艇長署名の上、フィニッシュ後2時間以内に、本部船またはレース本部に提出しなければならない。帰着申告書類は、外洋三崎ホームページより入手できる。各艇の連絡責任者宛にメール送信することがあるが、あくまでサービスであり救済の対象とはならない。

22. ペナルティー方式

RRS 44.1 を変更し、『2 回転ペナルティー』を『1 回転ペナルティー』に置き換える。

23. 抗議と救済要求

- 23-1 抗議は、RRS61 に従って自身の抗議の意思を当該艇に対して通告（赤色旗の掲揚等）すると共にフィニッシュ時にその意思と相手艇名を本部船に告げ、自艇のフィニッシュ後2時間以内に所定の抗議書をレース本部にメールにて提出しなければならない。（レース本部へ持参提出を認める。）
- 23-2 救済の要求は、所定の抗議書にその旨を記入し、自艇のフィニッシュ後2時間以内にレース本部にメールにて提出しなければならない。（レース本部へ持参提出を認める。）
- 23-3 審問は原則、リモート会議ツールにより開催され、開始の時間、会議 URL については公式掲示板(WEB)に掲示される。加えて、必要に応じて当事者に電話連絡する場合がある。
- 23-4 RRS41, 55と本 SI 中[NP]と記された項目は艇からの抗議、救済の要求の根拠にはならない。
(RRS 60.1(a)の変更)

24. 成績の算出と表彰

- 24-1 IRC デビジョン
TCC によるタイムオンタイムにより計算する。
CT で同順位の艇がある場合は、TCC の数値が小さい艇を上位とする。
- 24-2 ORC-C デビジョン
パフォーマンス・カーブ・スコアリング (Offshore) により計算する。
CT で同順位の艇がある場合は、GPH の数値が大きい艇を上位とする。
- 24-3 表彰の詳細は、改めて、参加艇連絡責任者に連絡する。

25. 賞

- 25-1 各デビジョンのファーストホーム賞と1～3位。
- 25-2 デビジョンでクラス分けした場合、総合1～3位と各クラス1～3位。
- 25-3 4艇以上参加の場合3位まで、3艇参加の場合は2位までを表彰とする。
- 25-4 ダブルエントリーについては、24-1 項、24-2 項を考慮する。

26. 安全に関する遵守事項

- 26-1 ほぼ相模湾全域にて使用できる2台以上の携帯電話を搭載し、良好な状態を維持していること。
- 26-2 携帯電話の予備バッテリーおよび艇内の電源から携帯電話のバッテリーを充電出来る装置の搭載。
- 26-3 膨張式ライフジャケット等安全備品については、緊急時に有効に稼働させるため、機能確認を適時行っていること。
- 26-4 全乗員の1/2以上の定員を有する検査有効期限内のライフraftの搭載（推奨）。

27. 緊急避難

- 27-1 悪天候を避けるため、傷病人の上陸のため、艇の修理のために、なるべく早い機会にレース委員会に通知した上で、港湾内に進入着岸しても良い。
- 27-2 港湾内等に進入する際、アンカリングや着岸の際にエンジンによる推進力を使用しても良い。
- 27-3 いったん艇から降りた乗員は、係船のために一時降りたり、傷病人の安全な場所への移動などの補助をした場合を除き、その後のレースに参加することはできない。

28. エンジンの使用 [DP]

RRS 42.3 が適用される場合、あるいは前項の規定に従う場合には、エンジンを使用することができる。但し、エンジンを使用した場合には、その状況(使用目的、時間、場所等)について、フィニッシュ後にレース委員会に報告しなければならない。

29. インспекション

- 29-1 レース委員会はレース前・レース後の可能な時に、参加艇が諸規定に適合しているか否かをチェックすることがある。
- 29-2 レース委員会は、レースの公平を保持、安全を確保する為に、チェックイン完了後からレース終了のフィニッシュ直後までの間、全艇又は任意に選択した艇に対して、随時にインспекションを実施することができる。

30. 運営艇

本部船 : ヨット 陽焔(31フィート)、船体色 : ホワイト

外洋三崎大クラブ旗を掲揚する。

日没から日の出まで、錨泊灯と赤色灯縦2つを点灯する。但し、消灯していたとしても救済の対象とはならない。

運営艇 : プリンセスII (油壺ヨットハーバー)

インフレーター、船体色 : グレー、外洋三崎クラブバース旗を掲揚する。

31. ゴミの処分

レース参加者は、故意にゴミを水中に投棄してはならない。これには、セイルをセットするときのゴムまたは毛糸のバンドも含まれる。

32. 緊急捜索要請

諸情報を総合的に勘案し、艇の遭難の可能性が高いとレース本部が判断した場合は、当該艇の緊急連絡先と協議の上、海上保安庁に捜索要請を行う。

緊急時における海上保安庁関係機関の連絡先TEL : 118 番

第三管区海上保安本部 TEL : 045-211-1118

33. 事故報告

人身、捜索を必要とする落水、および他艇を巻き込む衝突事故などを起こした場合、事故を起こした艇は、出来るだけ速やかにレース委員会に、可能な手段で報告しなければならない。

34. 責任の否認

レース参加者は、自己の責任においてレースに参加するものとする。（RRS 基本規則 4 参照）。

また、レース参加者は、大会の前後ならびに期間中に生じた人身事故（死亡・傷害・行方不明等）および物的事故（沈没・盗難・損傷等）について、その責任を全て負うものとし、主催・後援・協賛・協力等の諸団体は如何なる責任も負わない。

35. レース本部

35-1 レース本部設置場所

場 所 : 三崎マリン 2 階（神奈川県三浦市三崎町小綱代 1003-6）

設置期間 : 2020 年 9 月 12 日（土）07：30～9 月 13 日（日）17：30

（レースの状況により、設置期間が短くなる場合がある）

35-2 公式掲示板設置場所

公式 WEB サイトを公式掲示板とする。

公式掲示板(WEB) : <https://www.jsaf.or.jp/misaki/2020/index.html#miko>

35-3 連絡先

電話番号 : 070-2822-2654

ファックス番号 : 050-3737-2919

メールアドレス : mikomoto-2020@misaki-ocean.jp

36. 『スマホでヨットレース』のご利用のお願い（推奨）

リアルタイムに近いトラッキングシステムとして『スマホでヨットレース』を採用し、参加艇が保有するスマートフォン（iPhone、Android）に、ご利用設定頂きます様、お願い致します。

<出港から帰港まで>

設定頂くことにより、参加艇の安全性の向上、さらにレース観戦の可視化と公開化が可能となります。

また、携帯電話によるロールコールのため、参加艇間の相対位置関係がわからないという問題の解決が期待できます。

尚、ロールコール用携帯電話の電池の消耗を回避し、万が一の緊急時の連絡に問題を生じさせないため、

ロールコール用携帯電話とは別の端末をご使用願います。

<設定・観戦方法> は

下記 URL をご参照ください。

URL : <http://maru.marux.net/yachtrace/index2.html>

37. 問い合わせ

問い合わせ、質問はEメールのみで対応する。

- ・艇名・質問者氏名・日付を明記し、出来るだけ箇条書きにて問い合わせること。
- ・質問内容と回答は各艇連絡責任者に、Eメールにて開示することがある。

宛 先 : 第 65 回神子元島レース実行委員会 レース事務局

メールアドレス : mikomoto-2020@misaki-ocean.jp

外洋三崎 URL : <http://www.jsaf.or.jp/misaki/>

以上

付則－ 1 神子元島レース 通信規定 (携帯電話による通信方法)

目的	時刻 (JST)	接続方法	通話・報告内容	その他
スタート前の 通話確認	09:15 ～ 09:45	本部⇒各艇	①本部から、接続・ 通話状態を確認。 ②レース艇から、接続・ 通話状態を返答。	接続性、明瞭度等の確認。 <呼出方法> ①順次呼び出す。 ②2回接続不可時、2台 目の携帯に電話する。
定時 ロールコール	18:00 02:00 10:00	各艇⇒本部	レース艇は下記を報告 ①位置：緯度・経度 ②乗員の状況 ③艇の状況 ④艇速 (対地速度) ⑤風速 ⑥風向 ⑦波高	<呼出方法> ①レース本部を呼び出す。 ②本部・予備1の順に呼び 出す。 注：報告事項は、定時刻の 情報であり、報告時点ではな い。
神子元島回航連絡	神子元島回 航後速やかに 行なう	各艇⇒本部	レース艇は下記を報告 ①神子元島灯台を、 MAG0°に確認し た時刻。 ②乗員の状況 ③艇の状況 ④艇速 (対地速度) ⑤風速 ⑥風向 ⑦視認できる艇名	<呼出方法> ①レース本部を呼び出す。 ②本部・予備1の順に呼び 出す。
通信確認	適時	本部⇒各艇	確認、依頼、など	各艇に通信状況確認。 (指示する場合もある)
非常時通信	適時	各艇⇒本部	①自艇名 ②位置：緯度・経度 ③艇・乗員の状況 ④依頼事項 ⑤艇速・風速・風向 ⑥視認できる艇名	<呼出方法> すべての通 信手段により、連絡を行うこ と。
フィニッシュ 予告連絡	フィニッシュ予定 1時間前	当該艇 ⇒本部	①自艇名 ②小網代灯浮標まで XX マイル ③艇速 xx ノット	<呼出方法> ①レース本 部を呼び出す。②本部・予 備1の順に呼び出す。

本部電話番号 (変更がある場合は公式掲示板で通知する)

本部 : 070-2822-2654 / 予備1 : 080-3120-5681

緊急時 : 海上保安庁関係 : 118 番 / 第三管区海上保安本部 : 045-211-1118

* 携帯電話の義務事項

スタート1時間前(9月12日09:00)からフィニッシュ1時間後まで、常時通話可能な状態を維持すること。

* 国際VHFの運用

1. スタート後より、フィニッシュ後まで、海上保安庁他の各種警報などの入手のためVHF16chを聴取常時受信可能な状態すること。
2. 緊急時、本部と直接通信が出来ない場合は他艇に中継依頼をし、通信の確保に努力すること。
また、依頼された艇は中継に協力すること。
3. VHF16chは、呼出しチャンネルであるため通話は船間波(72ch、73ch、69ch)に変波して行うこと。

* リタイアした艇の義務事項

1. ホームポートに帰着するまで、携帯電話およびVHFは常時通話可能な状態を維持すること。
(レース本部より安全の観点から連絡する場合がある)
2. ホームポートに帰着後、速やかにレース本部に帰着連絡すること。

- 以上 -